

# 井奥まさきの 市政報告NEWS

2003・1  
No.18  
新春号

このNEWSは、無所属・市民派の高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

## 2003年の抱負は 「高砂市再生」です

高砂市議員  
井奥まさき

みなさん、旧年中はお世話になりました。おかげさまで2003年は2期目スタートの年となりました。

今年、高砂市は未曾有の財政危機に直面しそうです。年明けには財政再建の全体像が示される予定ですが、市民にとっては厳しい内容となることが予想されています。

公共料金の値上げ、サービスの切り捨て、そして市職員の給与カット・・・とあらゆる手段が取られる予定です。それだけ手を尽くしても、下手をすると「赤字再建準用団体」いわゆる「自治体破産」になるかもしれないということです。

「厳しい」と言われている他の自治体（尼崎市など）の場合

は、「財政調整基金」といういわば貯金があり、さらに「新規事業の取りやめ」という手段が残されています。

高砂市の場合、今後3年間まったく新規事業を行わず、また大きな負担を市民・職員に強いても、危機的な状況を脱することは出来ないことが問題なのです。残念ながら、県下最悪の財政状況と言わざるをえません。

こうした状況にも関わらず、行政側に危機感が乏しすぎます。

私は他の会派と共同で「緊急提言」をまとめました。内容は3ページに掲載しましたが、一言で要約すれば「反省をきちんと行い、そのうえで市民・職員に呼びかける」というものです。

今年の抱負は

# 再生

# 2003

そして、削る時、厳しい状況におかれた時こそ、「何を残し、何に重点をおくか」の政治ビジョンが問われます。私は「子ども」「環境」「情報公開と市民参加」という原点に戻って「高砂市再生」に取り組みたいと思います。それをみなさんと一緒に「対話」しながら実現させていきたい、というのが2003年の抱負です。

皆さん、一緒に「高砂市再生」を考えていきましょう。

## ダイオキシン排出テストが基準未満

### 新ごみ処理施設に問題か？ 情報公開がのぞまれます

12月議会の審議において「新ごみ処理施設」をめぐる問題が浮上しました。第1回目の試験でダイオキシン排出基準が契約条件に達していないこと、市職員組合の全戸配布ニュースに「数億円の維持費」という表現があることが質疑で指摘されています。1月28日に全員協議会でそれらの状況の詳細について報告がある予定です。追って報告いたします。

## 13本の条例議案を原案撤回 債務負担行為も一部原案撤回

財政再建の全体像を示さないまま条例議案を行政側が提案。空転の末、1月末に全体像を示し、3月議会で整理して再提案することが決まりました。（4ページ参照）

また、土地開発公社に関係した工業公園用地への債務負担行為も、市の努力が足りないことから原案撤回となりました。（2ページ参照）

### 井奥まさきの財政公開

収入	
10～12月分報酬（月52万2000円）	156万6000円
12月期末手当	126万0630円

支出（10～12月）	
所得税	22万6479円
議員共済	17万7900円
国民年金	3万9900円
国民保険	12万0000円
市県民税	10万0200円
ともに市政を考える会活動費 （ニュース発行費、人件費、事務所費など）	96万2151円
借金返済、次回選挙費用積立	30万円
井奥まさき生活費・行動費 （月15万、期末手当45万）	90万円

# 財政再建の全体像を示して「市長と語る会」を

3ページに示した「緊急提言」の内容をもとに、行政側も早急に財政再建の全体像を示すべきという観点から質問をしました。また、新しく着任した教育長に教育理念を語っていただきたいと思い、質問しました。

(議会だよりもご覧ください。)

全体像を

## 財政再建の全体像を示すべきでは

私たちは共同で提言をまとめました。行政側も早急に全体像を示すべきでは

田村市長 提言には全部目を通しました。参考にさせていただきたい。また、計画を数字をあげて明示することについては、年明けまでお待ちをいただきたい。

## 「市長と語る会」を

全体像を受け、早急に公民館単位の「市長と語る会」をすべきでは

田村市長 今のところ時期、方法等についてはまだ決めていないが、今後も続けていきたいと思っている。

この他にも、「司書教諭の体制整備について」「市長も『一言で言える』明確な答弁を」といった質問・提言をしました。

## 人事異動にたいする疑問

この1年間で総務部長が4人も変わりました。このような場当たりの人事異動を改善すべきではないでしょうか

田村市長 その時々の中での最善と考えた結果であったと思っています。今後は基本的な考えのもとに進めていきます。

## 教育長に教育理念を語ってほしい

「超整理法」という本に「明確なメッセージとは一言でいえること」とあります。ぜひ教育長に教育理念を一言で語っていただきたい

佃教育長 教育は子どもが主人公であり、高砂市、日本、世界の将来を担う人間育成をしていきたい。

## 総務委員会より いまだ契約予定ゼロの高砂工業公園をめぐり激論

総額で約100億円の高砂工業公園用地が、一件の契約も成立せず、丸ごと売れ残っています。

この用地はサントリー工場の周辺に位置しています。旧国鉄から買い取り、土地開発公社の独自事業として取り組んできたものです。土地の値下がりの読み間違いなどさまざまな要因が重なり、「不良債権」化しています。このままでは利子だけで年間1億円の負債が増えていきます。

12月議会では、事態の打開に向けて、短期借地権の利用による20年リース方式の導入と奨励金条例が提案されました。

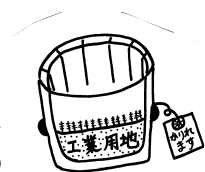
しかし、本会議の質疑で、行政側は当初に契約が予定されていた24社に対してすら十分な条件交渉をしていないことが判明。「いくら条件を整備しても、入ってくれる企業がなくては話にならない」「民間活

用も含め、もっと積極的なセールスをしないと」という声が会派を問わず議会全体からあがりました。

ほとんど契約見込みもない状態で「25年間195億円の債務保証」という行政側の提案に対して、「市民全体に連帯保証人となるこのような案に責任が持てない」という議会の声が圧倒的多数でした。それを受けて、「引き続き3月まで努力する」として行政は原案撤回をしました。

付託を受けた委員会でも、行政側の甘い見込みに全ての委員から厳しい指摘が続出しました。

放置しておけば、高砂市の命取りになる「高砂工業公園」事業です。行政は、人事体制整備も含め、もっと真剣に迅速に取り組むべきだと思います。



## 手ぬるい行政にガツン

## 高砂市の財政再建に向けて緊急提言！

いきいき・政和会・無所属で共同提言

高砂市の危機的な財政状況を受け、9月議会で「行財政改革等調査特別委員会」が設置され、閉会中に議論が続けられました。

しかし、行政側は「今少し時間を」という答弁を繰り返して、いっこうに明確な案が出てきませんでした。

そのあまりに遅い行政の姿勢に対し、いきいきネットワークと政和会・無所属が共同で緊急提言を行いました。

提言の内容は、「行政側の反省すべき点」「全体像の提示」「個別案」と3章に分かれ、22ページに及びます。(ホームページ <http://www.2s.biglobe.ne.jp/~ioku>)

「つじつま合わせ」に対し批判

私たちがこれらの提案が必要と感じたのは、一つには「全体像なきつじつま合わせ」に対する批判からでした。

「お金がないから仕方が無い」といわんばかりの「サービス切り捨て」「職員の給与カット」「市民への負担増」が12月議会、3月議会で提案されることが審議の際、行政側の資料で明らかになりました。

取りやめるべき施策も、重点

的に取り組む施策もなしに「一律何%カット」というやり方となっています。その点が問題だと感じたのです。

市民・職員と一緒に考えるためには「反省」が大事そして、何より「財政再建」のためには「なぜこんな事態になったのか」という説明が必要です。

私たちは「平成11、12年度の過大な投資」と「情報の隠ぺい体質」が原因だと指摘しています。年に3回も場当たり的に変更した中期財政計画のような「情報隠し」が日常的に行われていました。

こうした点へのきちんとした反省なしに、高砂市再生はありえません。

年明けの財政再建の全体像をきちんと検証します

行政側もようやく重い腰を上げ、1月末には行財政改革の全体像が示されることが表明されました。

私たちの提言が刺激となり、多くの会派から提言が出された効果によるものです。

内容については、逐一皆さんにお知らせするとともに、市民の視点に立ってじっくりと検証していきたいと思えます。

## 突然の田村市長の「断念」表明

## 私たちは阿弥陀小学校移転改築を求めます！

突然の断念宣言

12月4日の12月議会冒頭において、市長より突然「阿弥陀小学校の移転改築断念」の方向が示されました。「財政上の理由から」というのですが、代わりに示された「現地改築」案は移転改築案とほとんど費用は変わらないものでした。

質疑で地権者に対して田村市長が複雑な行動をしていたことも明らかになりました。

昨年1月に、大多数の地権者から同意を取り付け、数軒を残すばかりとなっていました。その後、11月26日に値段が折り合わなかった1軒の地権者と合意。ほぼ全体の地権者の同意を取れるようになりました。しかし、その翌日には考えを変えて「移転改築を断念」と市長が判断したというのです。

議会は全員が合意 後は市長の判断を待つのみ

12月議会では、地権者とPTAより「移転改築の推進を」とした趣旨の請願が出されました。さまざまな経緯の末、「全会一致可決」となりました。

今後は年明けの財政再建の全体像提示を受け、市長が判断することとなりそうです。

私たちは、阿弥陀地区の子どもたちのために良い結果となれば良いと思います。義務教育施設は、他の施設と違い「よその学区に通う」ことができません。ハコ物の中でも最優先で取り組まねばならないものです。

現在の阿弥陀小学校は「耐力的に建替えねばならない」という診断結果が出ています。

例えば、財政再建後の優先順位一番の事業と位置付けることで、財源的には改築の可能性が出てきます。また、こうした教育目的には「ミニ公募債」などの手段も暫定対策として考えてもいいのではないのでしょうか。

いずれにしても、「突然」に判断するのではなく、市長には市民や議会との十分な話し合いをしていただきたいものです。

13本の条例議案撤回となった12月議会。27日まで続く長い議会となりました。

行政側の予算・条例の提案は一言で言って「バランスが悪い」ものでした。

## 何も考えていない条例提案にあぜん！

### 原案撤回にならないよう、きちんとした提案を！

13件の条例議案の中には、「体育館の使用料」などやむをえない部分もありましたが、議会に対しての挑戦としか思えない内容もありました。

例えば、去年12月に提案して否決された条例が3件（重度心身障害者介護手当切り捨てなど）、一昨年（2001年）12月にサービス切り捨てしたものを2年連続して切り捨てをする条例が1件です。

全体的に整合性を持たず、「条例整備などができているやり易いものを上げれば良い」といわんばかりの提案では、通るものも通りません。

例えば、県では2002年2月に提案準備していた「参画と協働」条例を取り下げた後きちんと修正し、昨年末の県議会では賛成多数で可決しました。こうした最低限の努力を惜しみ、「数さえ揃えば良い」という議会運営は混乱を招くだけだと思います。

## バランスの悪い補正予算

なぜ今、特別養護老人ホームに4000万円

武蔵展に約3000万円

バランス  
悪いなあ

いきいきネットワークは反対  
賛成15（政友会7、民主クラブ4、公明3、無1）  
反対12（いきいき2、政和会4、  
新社3、無2、共1）


上で書いたような市民サービスの切り捨てが提案される一方で、「バランスが悪い」としかいいようのない予算計上がなされていきました。

例えば、前回も問題になった特別養護老人ホームへの助成金。約4700万円を減額して4000万円にしたということで再提案されてきました。

しかし、他の予算はどんどん切り捨てながら、一方ですでに十分な資金力がある社会福祉法人に助成するというのは理にかなわないと思います。また、田村市長自らが「できるだけ交渉で削減に努力したい」と前回の議会で答弁しておきながら、わずか15%程度のカットでは納得できません。

また、生石研修センターで行われる武蔵展にも、開催経費のほとんど全部である約3000万円を助成。他にも当初予算以上の補正がなされる項目があるなど、行政改革にほど遠い内容であったので反対しました。

## 井奥まさき日誌（抄）

- 
- 10月
  - 5日 今市秋祭り
  - 9日 いきいき選挙反省会議
  - 11日 兵庫県議員ネット
  - 16日 松陽学園高齢者大学 運動会
  - 17日、22日 行財政改革等調査特別委員会
  - 23日 市民相談（道路問題）
  - 25日 いきいき市議団勉強会
  - 26日 出版記念パーティ（岡山市）
  - 11月
  - 3日 バックアップスクール大阪 講師
  - 4日 「緊急提言」打ち合わせ
  - 9日 高砂まちづくり協議会（中央公民館）
  - 11日～13日 会派視察  
（東京都中野区、新宿区、千葉県船橋市）
  - 16日 市政勉強会参加
  - 17日 市政報告会（紙町、アーバン）
  - 19日 兵庫県議員ネット
  - 20日、21日 総務常任委員会視察  
（福岡県柳川市、宗像市）
  - 23日 市政報告会（今市事務所）
  - 25日 行財政改革等調査特別委員会
  - 27日 行財政改革等調査特別委員会
  - 29日 議会運営委員会
  - 12月
  - 2日 12月議会開会（～27日）
  - 3日～5日 議案熟読
  - 6日、9日～13日、16日、17日 質疑
  - 15日 選挙応援（岡山市）
  - 18日 一般質問
  - 19日 行財政改革等調査特別委員会、総務常任委員会
  - 20日、24日 総務常任委員会
  - 22日 選挙応援（広島市議選）
  - 25日 討論採決
  - 26日 追加議案の質疑、討論採決、最終日
  - 1月
  - 1日 元朝式参加  
いきいき新春街頭宣伝（高砂）
  - 2日 いきいき新春街頭宣伝（加古川）
  - 3日 いきいき新春街頭宣伝（高砂）
  - 6日 新春交礼会
  - 7日 会派懇談会（南庁舎）
  - 10日 議会運営委員会
  - 13日 いきいき成人式街頭宣伝
  - 15日 行財政改革等調査特別委員会  
（全体像の中間案の発表）

議会を傍聴しませんか？どなたでも傍聴できます。手続きはカンタンです。入り口で名前を書けば、どなたでも傍聴できます。

日程は議会事務局43-9051までお問い合わせ下さい。次の議会は2月下旬に開会予定です。

また、市庁舎内のテレビでも見ることが出来ます。

市政にこんなことを望みたい！

これはどうなっているの？

市政・市民相談受けつけます

TEL 0794-44-2343

FAX 44-2418

e-mail:ioku3@hotmail.com

あなたの近くでも市政報告会を企画して下さい。何人でも結構です。市内どこでもかけつけます。